

多久 議会だより

2023



令和4年
12月定例会

第55号



審査報告	P2
視察報告	P3
議案質疑	P4~5
審査報告、意見書、出前授業	P6
修正案・反対討論	P7
一般質問	P8~11
まちで発見!	P12

令和4年 12月定例会

令和4年12月市議会定例会は12月2日から12月19日まで（会期18日間）開かれました。

今回は、7人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

12月定例会では、市長から提出されました議案25件（条例13件、予算12件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

閉 会 中 審 査 報 告

総務文教委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件として取り組んでいる「公共施設の維持管理対策」について、担当課より「多久市公共施設個別施設計画(案)」の説明を受けました。

対象となる施設は、床面積200㎡以上の39施設となっており、総量の縮減及び規模の適正化を目的とした施設の再配置を実施しつつ、将来にわたって維持管理を継続していく施設については施設の長寿命化を推進することになっています。

個別施設計画には、行政系施設や学校教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設などといった施設類型ごとに取り組み方針やスケジュールが示されています。

委員からは、建替え場所の選定や建替え場所周辺の土地の利活用について土地の確保を含めて時間がかかるので、早い段階から手を付けていくべきでないか、また、施設の集約化についてはよく考えて行うべきなどの意見が出ました。他にも、民間事業者のアイデアを募集してはどうか、また市民の合意を取り付けな

がらやってもらいたいという意見がありました。



東庁舎周辺

産業厚生委員会 閉会中審査報告

閉会中審査事件として取り組んでいる「持続可能な営農への取り組み」について、担当課では、肥料価格や飼料価格が高騰していることから、農業者の経営意欲が減退していることに対し支援を行い、生産意欲の向上と、経営の継続及び安定を図られています。

また、農業経営収入保険への加入

を促進し、保険料の一部を支援することにより経営の安定と継続を図るなど、営農が持続できるための事業に取り組んでいることが認められます。

今後についても、市内5土地改良区及び、酪農家や花などを栽培されている花卉農家等への電気料金高騰に対する一部支援も計画されているなど、本委員会の目指している営農の持続を可能とする方向性が確認されたため、継続審査を終了することとしました。



令和4年度 総務文教委員会 視察報告

令和4年10月19日、20日の2日間、神奈川県小田原市、松田町に総務文教委員7名と行政職員1名、議会事務局職員1名の9名で視察研修を行いました。

今回の視察の目的は、小田原市の公共施設の維持管理対策と松田町の空き家対策についての、取り組み状況と課題について視察しました。

小田原市では、今後の人口減少によって、市の財源不足が将来的に見込まれることから、持続可能な行政サービスを実現するため、公共施設再編基本計画を策定し、施設機能・配置の適正化、施設総量の縮減に努められていました。



小田原市視察風景

なお、事業の再構築を進めるにあたって、対象となる施設や業務、契約期間などについて、広く民間事業者から意見を聴くためにサウンディング型市場調査を実施されています。サウンディング型市場調査については、自治体のプロジェクト構想段階で、市民や民間企業から市情

勢の有無やアイデアを求め事業者がより参加しやすい公募条件の設定を把握するための調査であり、調査を行う自治体も増えてきていることから有用な調査手法であり、併せて、地域の方々の意見を広く聞くことも大事だと思いました。

松田町では、空き家予防と空き室対策を一体的に実施し、人口減少対策を行うとともに将来的な空き家対策に関する経費の抑制、景観保持、定住人口の増加、流通促進を目的として先駆的空き家対策モデル事業を実施されています。

高齢化による空き家発生の予防については、リーフレットの作成や終活講演会の開



松田町視察風景

催、また、個別相談会を開催するなどして空き家予防意識づけを図られており、自身が所有する不動産を家族と相談するきっかけにもなり、管理不全の空き家発生の抑制につながっている。多久市でも空き家発生の予防の取り組みの一環としてリーフレットの作成や終活講演会等を継続的に行う必要があると思いました。

空き家対策事業に対して民間との連携などに積極的であり、役場全体での問題意識や住民の関心なども高く、多久市も取り組むべきと感じました。



松田町視察風景

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

中島 慶子

■多久市資金の積立てに関する基金条例の一部を改正する条例

Q 企業版ふるさと納税について制度の概要や寄附の現状は

A 寄付額の6割を同法人の法人関係税から控除されます。また、損金算入による通常の寄附の軽減効果として、寄附額の約3割を含めるといことで、最大9割の軽減効果があります。

また寄附の状況は2件の総額110万円の寄附を受領しています。

Q 企業版ふるさと納税の広報は

A PRにつきましてはパンフレット等により行っております。

また広報につきましては、広く周知を行うために、市のホームページをはじめ、市内の誘致企業、または本市にゆかりのある企業の方々へ職員が出向いてPRをしているところであります。



國信 好永

■池田学動物画シリーズ51作品の購入

Q 池田学氏の動物画を購入することに、本当に効果が有るのか

A 住民の福祉向上に向けて、最少経費で最大の効果を常に念頭に置いて予算編成を行っており、効果については、庁内でも協議を重ね、是非、買うほうが良いだろうということで提案をしています。



古賀 公彦

■池田学動物画51作品の購入

Q 絵画の保管場所は庁舎内の情報課サーバー室ということだが、温度管理等は大丈夫か

A 24時間換気されており、一定の温度と湿度が保たれています。

Q アートのまちとして考えているのであれば、将来的に展示館建設も考えているのか

A 公共施設の在り方を考える中で、庁舎の複合的な建設を検討する際に、展示を行うような施設も計画の一つとして考えていきたいと思っています。



鷺崎 義彦

■定住促進条例の一部を改正する条例について

Q どのような理由からの改正か

A 令和5年度以降も継続して多久市定住促進条例の期限を2年間延長するものです。

Q 変更、廃止、新設される項目と理由は

A 変更したのは、子育て・若者定住奨励金で住宅取得での基本額を10万円増額し、補助上限額を撤廃するものと、空き家バンク活用補助金では、市内外の業者によるリフォームも対象とし、市内業者でのリフォームには別途加算額を設けるものです。新婚世帯増改築等補助金は、他に同様の制度があるため廃止します。新設は、民間事業者の知恵と資本により、低廉な宅地を確保して頂くことを目的とした宅地造成支援補助制度です。



飯守 康洋

■池田学動物画51作品の購入

Q 池田学氏の動物画シリーズの作品51点購入の目的と費用の内訳は

A 文化、芸術の推進を図り、新たな視点で多久市の再発信に取り組み、池田学氏の絵画を通し、関係人口の増加、アートを資源とした活性化を目的としています。費用の内訳は、絵画購入費5,100万円、ケース購入費200万円、運搬費300万円、イベント企画運営委託料498万円、その他54万円の計6,152万円となります。



議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

樺島 永二郎

■池田学動物画51作品の購入

Q 51点以外にも動物画シリーズは10点ほど所有されており、今後も制作される動物画も出てくると思いますが、それを今後購入するのか。



今後、多久市に関わりがある著名な芸術家等が現れた場合は、同じように購入されるのか

A 売却する意向が示された場合には、当然検討していかなくてはならないと考えています。

本市にゆかりある著名なアーティストの作品が出てきた時には、今回の趣旨同様、アートのまちづくり、交流人口、観光人口、心の豊かさの向上など、市、または市民の皆様にとって効果的であるかを十分検討していきます。

■マイナンバーカードを活用した医療扶助通信接続設定委託

Q 被保護者が今まで行っていた行動や流れが、今後変わるのか

A 被保護者が医療機関を受診する場合、事前に福祉事務所の担当ケースワーカーへ受診する旨を申し出ていただくことに関しては今後も変わりませんが、福祉事務所としては、医療券の発行事務、郵送事務などの事務負担が軽減します。

田淵 厚

■マイナンバーカードを活用した医療扶助通信接続設定委託

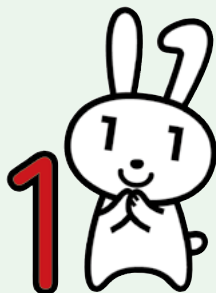
Q 生活保護オンライン資格確認導入事業の目的は



A 被保護者の医療費は原則全額公費負担で、発行する紙の医療券をマイナンバーカードに切り換えることで登録情報をオンライン照会し迅速に診療が始められます。

Q 市内医療機関等のオンライン資格確認状況は

A 療養担当規則の改正で、令和5年4月からオンラインによる資格確認の導入が義務づけられ、多久市内では、現在、薬局を含む病院等全27施設のうち9施設がオンライン運用されています。



■通学対策に要する備品購入(スクールバス事務所)

Q 備品購入費として165万円が計上されているが、その内容は

A スクールバス事務所の半分がリース物件で、今回、リース元から年度内リース終了及び回収との提示があったため、現状物件の払下げ購入費用として計上しています。

Q スクールバス運営会社のプレハブ事務所の半分がなぜリース物件だったのか

A 平成25年2月末に8坪の事務所として設置完了しましたが、運行開始準備を進める中で事業所スペースが不足することが確認されたことから、同規模物件を繋げて使用しています。

■(仮称)多久市グリーンパーク

Q 経費380万円の内訳は

A 管理運営に必要な備品購入費365万円と需用費消耗品費15万円となっており、主な備品は、パークゴルフやグラウンドゴルフの競技用道具、道具を収納する倉庫棚、建物のエントランス用品、刈り払い機、事務用品を予定しています。

Q その他の財源とあるが、その内容は

A 広域クリーンセンター建設に伴い、多久市、小城市で負担している地域振興対策事業負担金になります。



多久市グリーンパーク完成予想図

委員会審査報告

総務文教委員会 審査報告

審査の過程で、多久市グリーンパーク条例では、市が直接施設運営をしている間に、運営の在り方について十分に精査し検討してもらいたい。

また多久市定住促進条例の一部を改正する条例では、定住奨励金制度については、これまで転入促進及び転出防止に一定の成果をあげており、更なる定住促進に向けて努力してもらいたいという意見がありました。

予算特別委員会 審査報告

総務費

審査の過程で、「池田学動物画購入」について、新型コロナウイルス感染症禍にあり経済状況が厳しい中、市民のために予算を活用すべきで、池田学動物画購入について、現時点では認められない、展示施設や保管施設の環境整備や長期的な活用計画が見えない中での購入は、世界的に著名な作者に失礼ではないのかとの意見がありました。

可決された意見書（要約）

農業に係る燃油・肥料・飼料価格高騰への 対応を求める意見書（要約）

農業の生産現場では、農業や農村を維持、発展させる上で多くの課題を抱えている。こうした中、食料や資源の多くを依存する我が国は、諸外国の輸出規制や緊迫化する世界情勢の

ありを受け、農畜産物の生産に必要な燃油・肥料・飼料価格のほか、被覆資材などの生産資材、施設ハウスや共同利用施設の建設費が高騰し、本市の農業振興に多大な影響を与えている。また、本市の基幹産業である農業が衰退すれば、他産業への影響も甚大であり、市全体の経済の疲弊にもつながりかねない。

さらに、コロナ禍の影響も加わり、農畜産物を安定して生産していくことが困難になりつつあることから、将来を見据えた食料安

全保障の強化が求められている。

以上のことから、農畜生産基盤の維持強化や食料安全保障を強化していくためにも、次の事項実現を強く求める。

① 燃油価格高騰対策

② 肥料価格高騰対策

③ 飼料価格高騰対策

④ 持続可能な農業の確立に向けた取り組みへ

将来にわたり農業生産が持続できるよう、農業者手厚い支援を行うとともに、持続可能な農業の確立に向け、農畜産物の魅力の発信、ブランド力向上に取り組むこと。



「政治に関心をもって」 議員が先生！ 出前授業

議会や議員を身近に感じてもらうために、議員が先生となつて議会の仕組みや役割を教える「出前授業」を11月14日に東部校の6年生を対象に実施しました。

子どもたちに、興味や関心を持つてもらえるように、クイズ形式や子どもたちからの質問に答える形で授業を行いました。

多久市一般会計補正予算(第8号)に対する修正案

今回提案する修正案は、総務費、池田学動物画利用に要する経費6,152万円を削減し、歳入歳出から、それぞれ6,152万円を減額し、予算の総額を151億4,546万円から150億8,393万円とするものです。

提案理由として、著名な方の芸術作品を購入する明確な基準が無い中での購入は、多久で今後、他に著名な芸術家等が現れた時にどう対応するのか。

池田学氏の作品が本来に必要だと感じたのなら、2017年1月から、佐賀県で「池田学展―凝縮の宇宙―」がおこなわれた5年前の時から、佐賀県が当時の新作「誕生」という縦3m×横4m作品を1億3千2百万円で購入をされた時に購入すべきではないか。

また、池田学展を毎年でないが、多久市の催事に合わせて開催することを考えておられるようだが、展示内容に大

きな変化がない展示会に2回・3回と多くの人に足を運んでもらえるのか。

それと、現在、池田学氏は今回1作品百万円で購入する計画の動物画作品を複数所有されており、この作品は「公益財団法人東京動物園協会」の刊行紙「どうぶつと動物園」の挿絵として掲載されていた作品で今後増えていく可能性があり、説明の中で、動物画をシリーズとして全部持つことに価値があるとあったが、今後、購入が必要となれば数千万円の費用が必要となる。

それよりも、池田学氏の代表的作品を数点購入して、新公立病院や今後できるであろう新庁舎、市の代表的な施設で展示する方が、施設を訪れる人が誰でも鑑賞でき、多久からも世界的に活躍する人物がいることを誇りに思うのではないかと考え、今回提案された池田学動物画の購入は認められないと判断し修正案を提案します。

修正案に対する反対討論

田 淵 厚

多久市で生まれ、アメリカで制作活動をしている池田学氏の絵画を本市が持つことは、見ていただいた方の高揚感、交流人口の増、アートを生かしたまちづくり、実物に触れることによる教育などに寄与するものと考えます。

動物画シリーズは、幼少期に多久市の裏山や小川で遊んだ経験が多く生かされた絵画であり、新たな視点で多久市の魅力を発信できるものです。財源については、ふるさと振興基金とし、寄附者の意向に沿うものです。

活用については、池田学氏の絵画を通したパブリックコレクションとして所有するお互いの芸術の貸し借りや多久市の関係するアーティストと企画展及び市内公共施設において期間限定で数点を常設展示する計画がされています。

今後、インバウンドも含めて多久市の情報発信につながり、新たな施策転換を図る上で十分な効果が見込まれると考え、予算の修正に反対します。

※他に、修正案に対する賛成討論を國信好永議員が行ないました。

議案番号	賛否表 議案名 ※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
		飯守 康洋	田淵 厚	香月 正則	樺島永二郎	國信 好永	山本 茂雄	田中 英行	中島 國孝	平間 智治	中島 慶子	小川 三郎		古賀 公彦	鷺崎 義彦	野北 悟	
議案乙第48号	令和4年度多久市一般会計補正予算(第8号)に対する修正案	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	修正案否決
	令和4年度多久市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席

市政を問う

12月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



樺島 永二郎

SAGA2024国民スポーツ大会

樺島 国民スポーツ大会の時には、弓道競技・スポーツクライミング競技会場に、仮設の設備等は準備されるのか。

答弁 弓道では、近的・遠的に観客席を、スポーツクライミングでも多久高校グラウンドに観客席を設置し、両競技共にテントを多数配置する予定です。

樺島 大会では非常に多くのボランティアSTAFFが必要で、そのためには市民の盛り上がりが大事だと思いがその取り組みは。

答弁 大会の認知度の向上、機運醸成を図るために、各種広報や啓発物の配布、また、イベント等を活用し、国スポの魅力を発信していきます。

多久市緑が丘弓道場

樺島 現在までの利用状況と、当初予測していた数の違いはあるか、また交流人口の増加に寄与しているのか。

答弁 利用者数の年間見込みについては、年間約6,000人を見込んでいましたが、11月までの利用実績1万2,600人と、既に約2倍の利用があり、年間1万9,000人を予想しています。

大会の開催状況についても、佐賀県高校総体、九州高等学校弓道新人選手権、佐賀県民スポーツ大会、九州各県対抗弓道大会等、大規模大会も開催され、今年度全体で約20の大会が開催される予定です。

使用料収入についても、当初見込みが年間10万円に対し、11月末で約37万円、年間では55万円を見込んでおり、利用者数、使用料収入ともに見込みを大きく上回る状況です。

市外、県外から多くの選手・役員・応援の方が多久に来られるようになり、交流人口の増加や、一定の経済効果、非常に実感をしています。

一般質問



田中英行

再犯防止推進計画について

田中 多久市の今までの取り組みは。

答弁 取り組みは、社会を明るくする運動のメッセージ伝達式、市内義務教育学校への訪問、社会を明るくする運動広報活動、保護司会多久支部への補助金支出、佐賀県更生保護協会及び佐賀県BBS連盟への負担金支出を行っています。

田中 今後の課題は。

答弁 今後はより一層、佐賀県をはじめ、保護観察所や保護司会などの関係機関及び民間協力者との連携、また情報共有や啓発活動を密にし当事者が相談や要望をしやすいようにしていきます。

田中 犯罪被害者の方への支援は。

答弁 犯罪被害者の相談窓口を防災安全課に設置し相談体制を取っています。また、庁内の関係各課と連携

をし、犯罪被害者が日常生活や社会生活を円滑に営めるよう住居や福祉サービスなど希望される情報提供を行うようにしています。

農福連携について

田中 福祉事業所の農業従事者の実態は。

答弁 事業者は4事業者あり農業に携わる従事者数は1事業者当たりで10人から20人ほどの方が作業をされています。

田中 今後どのような施策をしているのか。

答弁 農福連携に取り組むことで、障害者の方々の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるものでもありますので、佐城地区推進協議会を中心に取り組んでいきます。



鷲崎義彦

農業に係る地域計画の策定について

鷲崎 人・農地プランを法定化し地域計画を策定する狙いは。

答弁 高齢化の進行で小規模な水田農家の方などが離農され、耕作されなくなる農地を、農業を担う者に集積・集約を行い、地域農業を守るのが狙いです。

鷲崎 見込まれる効果は。

答弁 農地の集積・集約や課題解決に向けた取組みなどを行うことで、遊休農地の拡大防止と農地利用の効率化を図ることにより、地域農業の維持、発展が見込まれます。

鷲崎 地域計画策定の手順は。

答弁 まず、農業委員会が将来10年後の農地の受け手が誰になるのかを明らかにした農地の集約状況を示した素案である目標地図を作成し、それを基に地域の現状や課題を踏まえ、た上で、担い手の集積・集約化に関する事項などを、地域の担い手である認定農業者や新規認定農業者などを中心とした関係者による協議を行い、令和6年度末までに、地域計画を策定、公表することになります。

鷲崎 地域の皆さんや関係機関に周知広報等も必要と思うが。

答弁 関係機関等への周知については、生産組合長会などの農業団体等の会議の折に周知していきます。



【その他の質問】
▼イノシシ対策について



平間 智治

公園樹木の維持管理

平間 中央公園と西溪公園の「もみじ」「桜」の植木の植え替えの判断基準と、その植え替え本数と費用は。

答弁 指定管理者と市が現地を確認しながら、植え替えの判断をしています。

令和3年度の撤去数は、中央公園11本、西溪公園11本撤去をして、21本ずつを植樹しています。



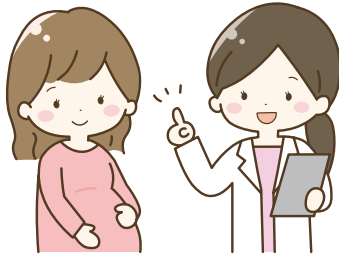
西溪公園(寒鷺亭)

費用は、中央公園が52万8千円、西溪公園は62万7千円で、合計115万5千円です。

出産・子育て応援交付金

平間 交付金の概要は。

答弁 出産・子育て応援交付金事業は、具体的には伴走型相談支援として、妊娠届出のときから全ての妊婦、子育て家庭に寄り添いながら相談に応じ、必要なときは関係機関と情報共有しながら、必要な支援等へつなげていきます。



また経済的支援として、妊娠、出産を行う皆さんに対して、出産育児用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図ります。

妊娠中に5万円、出産後に5万円の合計10万円を交付いたします。(交付要件として、必ず面談が必要です)



田淵 厚

多久市高齢者福祉計画

田淵 コロナ禍での状況で、多久市内の介護保険サービス事業所に勤務している専門職アンケートで、ひきこもりや意欲低下が増え、病院に行くのが困難な高齢者の増加で、ふれあいバスやふれあいタクシーの利用促進に努め医療サービスに繋ぐのが大切とあるが具体的にはどうされているのか。

答弁 高齢者は徐々に筋力が低下し、行動範囲が狭くなります。そこで地域の通いの場を推進しています。病院に行くのが困難な高齢者は社会的な課題です。

利用者のニーズにあったふれあいバスの時刻表を作るお手伝い、令和4年4月に社会福祉協議会に暮らしサポートセンターを設置し、有償ボランティアによる、「おでかけサポート事業」を始めています。

田淵 地域包括ケアシステムはどんな事業なのか。

答弁 地域包括ケアシステムは、地域の実情に応じて高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、能力に応じた暮らしができるように、医療、介護、介護予防、生活支援サービス、住まい等のサービスを包括的に提供できる体制を整備することです。その体制を整備、充実、推進する機関が地域包括支援センターで、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がいます。



一般質問



中島 慶子

長期化するコロナ禍での状況について

中島 コロナでの自宅療養者の相談や支援体制はどうなっているのか。

答弁 発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等の身近な医療機関に電話相談をしてから、医療機関の指示に従っての受診をお願いし、かかりつけ医がない場合は受診・相談センターに電話して、案内に従って受診をお願いしています。

また、自宅療養については、発症日から基本8日目に療養解除とされていますが、10日間は感染リスクが残っていることから、自主的な感染予防行動の徹底が必要です。

中島 多久は接種率向上のためにどのような取り組みで結果に繋がっているのか。

答弁 若い世代の接種率を向上させるために、コロナワクチン接種センターでの接種を金曜日、土曜日、日曜日や休日を意図的に設定しています。

また、年末年始の感染拡大を防止するために、3回目以降の接種をされていない約6千名の方に接種勧奨の個人通知を送付しています。

中島 コロナ病床のベッドの数は。

答弁 入院対応につきましては、市立病院内に最大7床を新型コロナウイルス専用病床として確保しています。



コロナワクチン接種センター



國信 好永

多久駅周辺土地区画整理事業について

國信 最初の発案が昭和56年の多久駅周辺土地区画整理事業の着工時の工事費概算は。

答弁 当初計画時の金額は99億7千6百万円ということで計画をしていました。

國信 現在はそれから増加しているか、減額しているか、そして、現在の金額は。

答弁 平成10年に第1回目の変更6千9百万円増額をし、総事業費100億4千5百万円なっています。

第2回目の変更のときも総事業費が変更になっており、1億7千万円増額し、総事業費102億1千5百万円に変更しています。

第3回、新たな事業を進めるための起債事業や交付金事業などが導入されており、減額での事業費となっており、4千6百万円の減となり、総事業費101億6千9百万円なっています。

ます。

第5回目につきましては6千8百万円の増額を行っており、総事業費は102億3千7百万円となっています。

第6回、平成31年に施行地区の縮小を行い、1千万円の減額を行い、最終的な総事業費102億2千7百万円ということになっています。

國信 変更の主なものは。

答弁 多久駅を南北で結ぶ自由通路を、橋上駅化工事に伴い横断歩道橋への整備変更をした部分が大きなものになります。



区画整理事業

多久の歴史



まちで
発見!

後多久家 初代多久邑主 多 久 安 順 (龍造寺家久) ～後 編～ 1566年～1641年

前回に続き今回も、明治維新まで続いた後多久家初代多久邑主「多久安順」について紹介していきます。

慶長3年8月(1598)、関白豊臣秀吉が病死したことにより、11月下旬朝鮮在陣の諸将は各々帰船を始め、鍋島直茂らと共に龍造寺家久も帰国しました。しかし、ほっとしたのも束の間、慶長5年(1600)には、天下分け目の戦い ★①関ヶ原の合戦 が勃発!



関ヶ原での陣の配置▲

★① 関ヶ原の合戦 豊臣秀吉の死後に発生した政争に端を発したもので、徳川家康を総大将とし福島正則・黒田長政らを中心に構成された東軍と、毛利輝元を総大将とし宇喜多秀家・石田三成らを中心に結成された反徳川の西軍の両陣営が、関ヶ原(岐阜県)を主戦場として行われた野戦。関ヶ原における決戦を中心に日本全国各地で戦闘が行われた結果、豊臣政権は統一政権の地位を失い、勝者である徳川家康は強大な権力を手に入れ、幕藩体制確立への道筋が開かれた。

関ヶ原の戦いでは、主家に従い西軍に属し出陣したが西軍は破れ、主家は人を使わし家康に謝罪し赦された。慶長13年、幕府が駿河城を築く折、主家は家久を監督として当たらせました。

同年、佐賀藩を治めた鍋島家に対して龍造寺姓を遠慮し、治領の多久を姓として名

乗り、家久を「安順」と改め、「多久長門守安順」としました。

元和元年(1615)、★② 大阪夏の陣 に参戦する為に伊万里津より出航しましたが、大阪城はすでに徳川幕府側の攻撃により落城していました。



多久安順の肖像【多久市郷土資料館蔵】▲

★② 大阪夏の陣 大坂の陣は、江戸幕府(徳川家康)と豊臣家との間で行われた合戦。大阪の陣とも表記する。大坂の役とも呼ばれ、大坂冬の陣(1614)と、大坂夏の陣(1615)から成る。

寛永12年(1635)、前佐賀藩主の曾孫龍造寺伯庵が、佐賀藩領は龍造寺氏のものであると主張し、公儀へ提訴したことに関して参府。安順は龍造寺氏から鍋島氏への政権移譲の正当性を説き、それを認めさせ伯庵の訴えを退けました。

寛永13年、多久邑主を養嗣子の多久茂辰に譲ったが、翌年、★③島原の乱 が勃発、★④鍋島甲斐守直澄 の後見役として、兵350人を率いて出陣しています。

★③ 島原の乱 江戸幕府のキリシタン弾圧に対する反乱。日本の歴史上最大規模の一揆であり、幕末以前では最後の本格的な内戦である。島原・天草の乱、島原・天草一揆とも呼ばれる。寛永14年(1637)勃発、寛永15(1638)終結。

★④ 鍋島甲斐守直澄 (1616～1669)前佐賀藩主・鍋島勝茂の五男、鍋島宗家の家督相続の候補者に推されたが、継ぐことはできず、寛永19年(1642年)、肥前国蓮池藩に5万2000石を与えられ初代藩主となった。

寛永18年(1641)没する。79歳、殉死者11名。慶閭寺に葬られました。



慶閭寺多久安順と一族の墓(佐賀市本荘町)▲

UD FONT

画やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境に優しい植物油
インキを使用しています。

議会広報委員会	
委員長	樺島 永二 郎
委員	田 淵 厚
平 間 智 治	
副委員長	鷺 崎 義 彦
委員	香 月 正 則
小 川 三 郎	

